

—世界のITエンジニア動向調査—

# 2023年版データで見る世界のITエンジニアレポート

Vol.9 世界109カ国のITエンジニア数に関する最新調査レポート



# はじめに

ヒューマンリソシアでは、世界のITエンジニアの動向を俯瞰的に把握することを目的に、国際労働機関(ILO)や経済協力開発機構(OECD)の公表データ、各国の統計データベースを基に調査・独自分析し、「データで見る世界のITエンジニアレポート」として発表しています。

このたび、世界のITエンジニア数に関する最新調査結果を「2023年度版:データで見る世界のITエンジニアレポートvol.9」として発表しました。この調査全編を、本レポートで提供します。

## <最新の発表内容>

～2023年版:データで見る世界のITエンジニアレポートvol.9～

世界109カ国のITエンジニア数は推計2,680.5万人前年比13.3%と急増、国別では1位米国、2位インド、3位中国、日本は世界4位を維持するが伸び悩む

[https://corporate.resocia.jp/info/news/2023/20231213\\_itreport09](https://corporate.resocia.jp/info/news/2023/20231213_itreport09)

## <これまでの世界のITエンジニアレポート発表内容>

- vol.1** 存在感高まるIT大国の米・中・印と、注目の北欧諸国をはじめとしたヨーロッパ地域  
[https://corporate.resocia.jp/info/news/2020/20200325\\_investigation](https://corporate.resocia.jp/info/news/2020/20200325_investigation)
- vol.2** 世界のIT技術者の給与ランキング、日本は92カ国中18位、伸び率は年5.9%増で20位  
[https://corporate.resocia.jp/info/news/2020/20200515\\_investigation](https://corporate.resocia.jp/info/news/2020/20200515_investigation)
- vol.3** 圧倒的なIT人材輩出数のインド、日本は減少傾向と、IT人材供給力の低下が明らかに  
[https://corporate.resocia.jp/info/news/2020/20200702\\_investigation](https://corporate.resocia.jp/info/news/2020/20200702_investigation)
- vol.4** 世界93カ国のIT技術者は約2,257万人、ヨーロッパ諸国の伸びが際立つ  
[https://corporate.resocia.jp/info/news/2021/20210927\\_itreport04](https://corporate.resocia.jp/info/news/2021/20210927_itreport04)
- vol.5** 世界109カ国のIT技術者数は約2,517万人、台頭する中南米、拡大が続くヨーロッパ各国  
[https://corporate.resocia.jp/info/news/2022/20221213\\_itreport05](https://corporate.resocia.jp/info/news/2022/20221213_itreport05)
- vol.6** IT技術者の給与が最も高いのはスイス、2位米国、日本は世界20位、中国が25位と迫る  
[https://corporate.resocia.jp/info/news/2022/20221214\\_itreport06](https://corporate.resocia.jp/info/news/2022/20221214_itreport06)
- vol.7** 世界のIT卒業者数は増加 日本のIT卒業者数は3.2万人で6位だが減少傾向  
[https://corporate.resocia.jp/info/news/2022/20221215\\_itreport07](https://corporate.resocia.jp/info/news/2022/20221215_itreport07)
- vol.8** IT分野のジェンダーギャップに関するグローバル調査  
[https://corporate.resocia.jp/info/news/2022/20230308\\_itreport08](https://corporate.resocia.jp/info/news/2022/20230308_itreport08)

※なお本レポートでは、調査時点で取得できる最新情報をもとに調査・分析しています。そのため、レポート内における前年データは、前年調査結果と必ずしも一致しません。

# INDEX

## 1. 世界のITエンジニアの現状は？

世界109カ国のITエンジニア数は推計2,680.5万人、前年比で13.3%増える

## 2. 国別のITエンジニアの動向

世界各国のITエンジニア数、1位は米国、2位にインド、3位は中国、日本は4位に入る

## 3. 世界各国でITエンジニア増の勢いが加速

世界各国のITエンジニア増、  
1位91.4万人と大幅増のインド、2位61.9万人増の米国

## 4. 世界各国でのITエンジニア職種の位置づけは？

就業者に占めるITエンジニアの割合が高いヨーロッパ各国、日本は37位

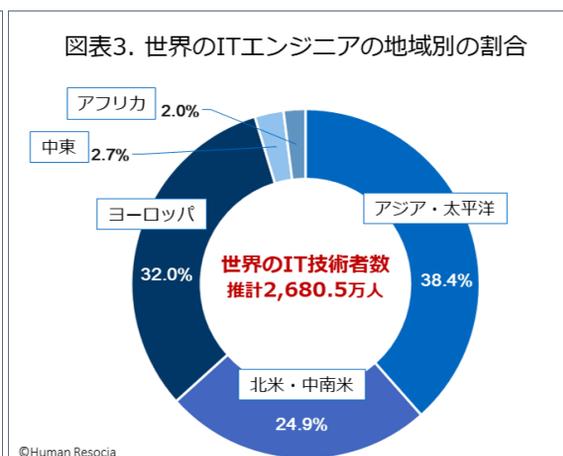
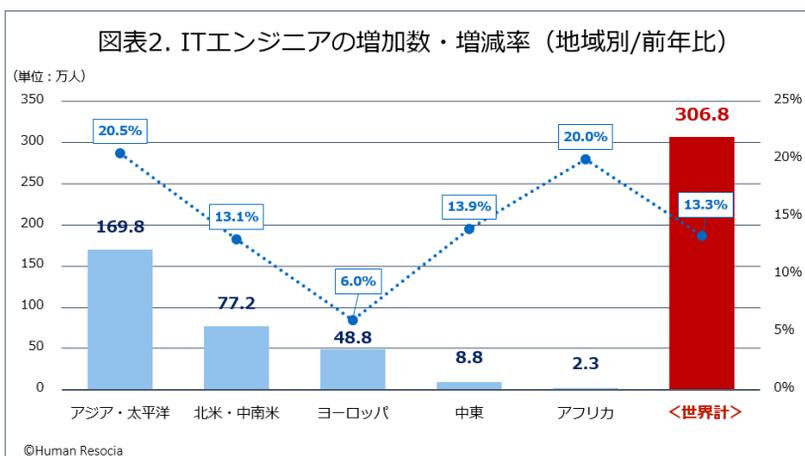
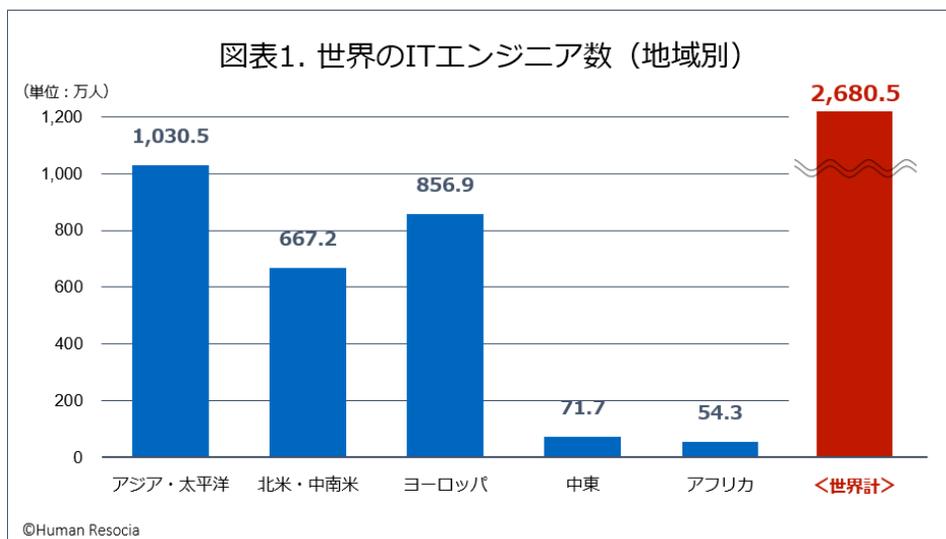
## 5. 日本のITエンジニアの動向

参考:日本国内のITエンジニアについて

## 6. 調査に関する出典等

# 1. 世界109カ国のITエンジニア数

世界109カ国のITエンジニア数は推計2,680.5万人、前年比で13.3%増える



(図表2) アジアおよびアフリカは、最新データ年と比較できる前年データが取得できた国(アジア13カ国、アフリカ7カ国)を対象に増減数・増減率を算出しています。

データを取得できた世界109カ国のITエンジニア数の合計は、推計2,680.5万人となりました。前年比では306.8万人増加しており、増加率は13.3%に上ります。

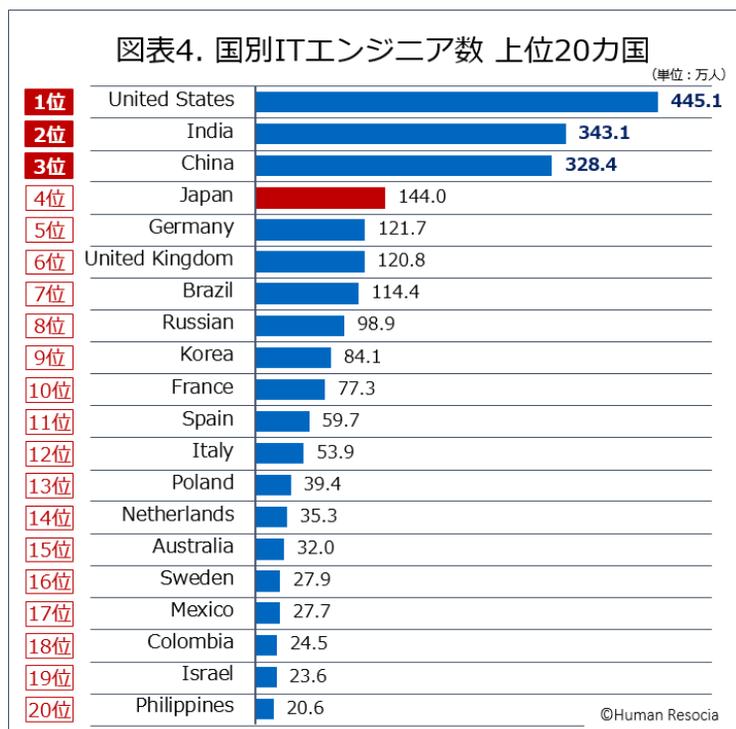
なお、前回調査での対前年増加率は4.7%でしたので、コロナの影響も背景に、ITエンジニア増加の勢いが加速していることがわかります。

また地域別ではアジア・太平洋地域が1,030.5万人で、世界全体の38.4%を占めています。

前年より、169.8万人増え、増加率は20.5%、占有率も2.7ポイント上昇するなど、アジア・太平洋地域の伸長が、世界のITエンジニア増を牽引しています。

## 2. 国別のITエンジニア数

世界各国のITエンジニア数、1位は米国、2位にインド、3位は中国、日本は4位に入る



(図表4)

※インド: 最新年のITエンジニア数は、情報通信業就業者に占めるITエンジニアの割合が前年と変化しないものと仮定して推計しています。

※中国: 中国を除くアジア地域の情報通信業就業者におけるITエンジニアの割合の平均から推計しています。

※イギリス: 2020年以降のITエンジニア数は、情報通信業就業者におけるITエンジニアの割合が2018年および2019年の2年間の平均と変化しないものと仮定して推計しています。

※米国は、2022年版は「米国労働省労働統計局」のデータを使用していましたが、本レポートではILOのデータを使用しています。

ITエンジニア数を国別にみると、米国が445.1万人と最も多く、続いて前回3位のインドが推計343.1万人で中国を抜き2位に入りました。

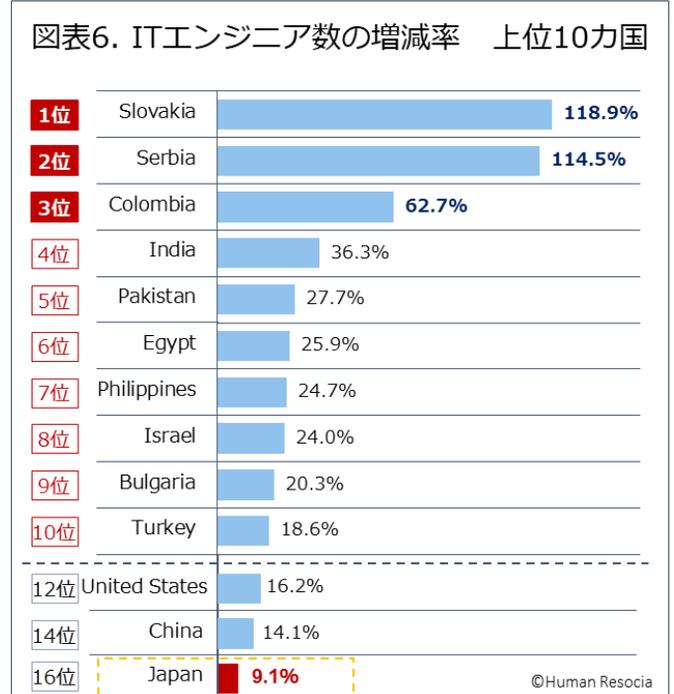
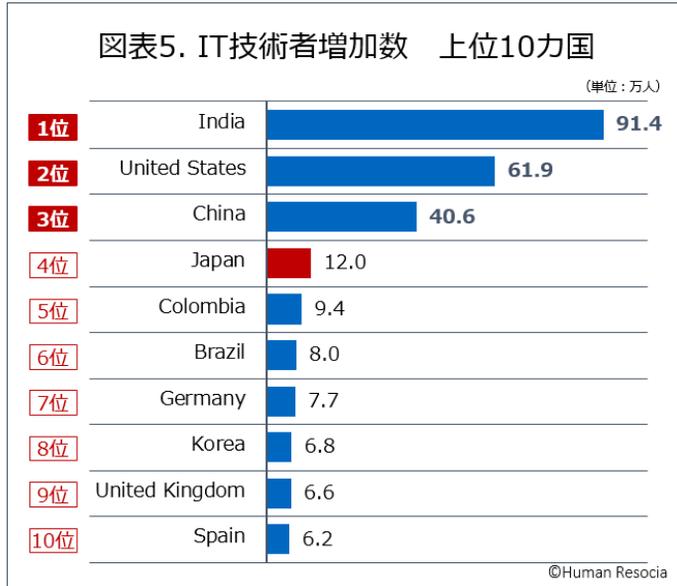
3位は中国で推計328.4万人、そして144.0万人の日本が4位となりました。

上位20カ国に、ブラジル(114.4万人で7位)、メキシコ(27.7万人で17位)、コロンビア(24.5万人で18位)と、中南米から3カ国がランクインしていることも注目されます。

### 3. 世界各国でITエンジニアが増加

#### 世界各国のITエンジニア増が加速

#### 1位91.4万人と大幅増のインド、2位61.9万人増の米国



(図表5・6)

ITエンジニア数が5万人以上で最新データ年の前年のデータを取得できた49カ国を対象に、対前年比で増加数、増加率を算出しています。なお、最新データ年については、本レポートの最後に記載しています。

ITエンジニアの増加数について、ITエンジニア数が5万人以上かつ最新データ年の前年データを取得できた49カ国を対象に調査したところ、前年比で最もITエンジニアが増えたのはインドで、増加数は推計91.4万人にもなります。

続いて、ITエンジニア数1位の米国が61.9万人増えて2位、そしてITエンジニア数3位の中国が推計40.6万人増と続きました。

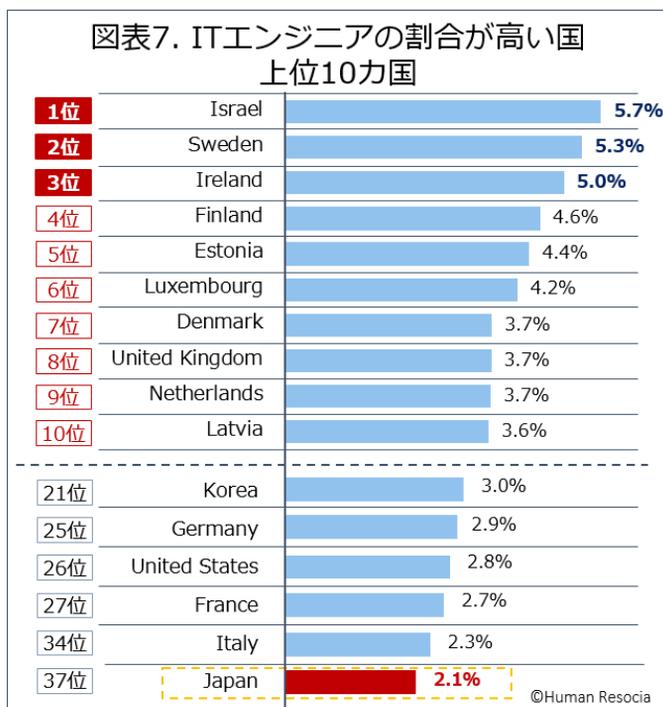
また前年と比較した増加率で見ると、増加率が最も高いのはスロバキアで118.9%、次いでセルビアが114.5%と、2倍以上に増加しています。

増加数で1位のインドは、増加率で4位の36.3%で、世界のITエンジニア市場で存在感を高めています。なお、米国は16.2%の12位、中国は14.1%で14位でした。

一方、ITエンジニア数4位の日本は、12.0万人増え、増加数では4位でしたが、増加率は9.1%の16位でした。前回調査と比較すると、増加数は10万人から12万人に増え、増加率も8.2%から増えているものの、世界各国の勢いと比較すると、伸び率は小さいと言えます。

## 4. 世界各国でのITエンジニア職種の位置づけは？

就業者に占めるITエンジニアの割合が高いヨーロッパ各国、日本は37位



(図表7) 各国の全就業者数に対するITエンジニア数の割合を算出しています。

就業者のうち、ITエンジニアの占める割合を国別に算出しました。この割合が高い国は、職業としてITエンジニアを選ぶ人が多く、職業として人気が高いと推測されます。

全就業者に占めるITエンジニアの割合をみると、109カ国のうち最も高いのはイスラエルで5.7%となりました。

続いて、5.3%のスウェーデン、5.0%のアイルランドが続きました。

この上位3カ国はいずれも、前回調査よりも、ITエンジニアの占める割合が高まっています。

また上位10カ国には、北欧をはじめとしたヨーロッパの国々が多くを占めました。

一方日本は2.1%で、109カ国中で37位となり、先進国の中では低い水準となりました。

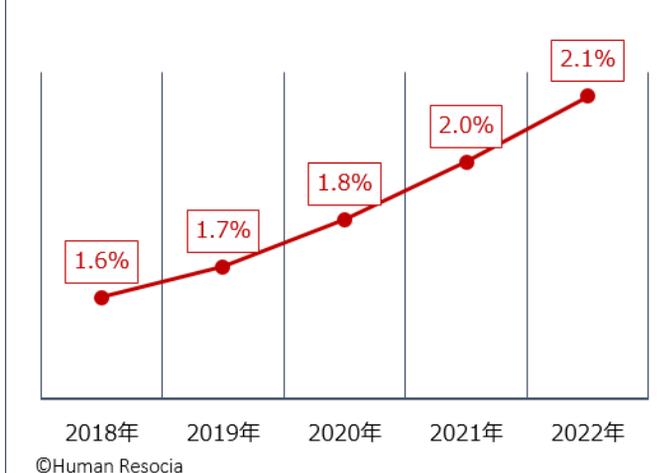
# 5. 日本のITエンジニア

## 日本国内のITエンジニアについて

【参考1】 日本のITエンジニアの増減数・増減率の推移



【参考2】 日本の就業者に占めるITエンジニアの割合の推移



ここまでの結果から、ITエンジニアが増加している世界各国と比べ、日本のITエンジニアの状況は伸び悩みが見られました。

そこで、日本国内のITエンジニアの実態を、時系列でみていきたいと思えます。

日本のITエンジニア数の推移をみると、2018年の109.0万人から22年には144.0万人に増加しており、増加率も18年の4.8%から年々高まり、22年には9.1%に上昇しています。

また、全就業者に占めるITエンジニアの割合も18年の1.6%から22年には2.1%まで上昇しています。

こうしたことから、日本でもITエンジニアが増えており、職業としてITエンジニアを選択する人も増えてはいます。

しかしながら、将来にむけ必要なIT人材を確保し続けるためには、IT教育の充実やIT分野への就職やキャリアチェンジの促進などによる労働力シフトが必要になると考えられます。

# 6. 調査に関する出典等

## 1) ITエンジニア数について

- ・国際労働機関(ILO)のデータベースにて、情報通信業就業者の中で、国際標準職業分類で「専門職」「技師、准専門職」に分類された人をITエンジニアとしています。なお、2023年10月調査実施時に公表されている最新データを使用しています。そのため、必ずしも前年データは前回調査データと一致しません。
- ・日本については、「労働力調査」のデータを使用しています。
- ・米国は、2022年版は「米国労働省労働統計局」のデータを使用していましたが、本レポートではILOのデータを使用しています。
- ・中国は、「中華人民共和国国家統計局」より情報通信業就業者を基に、同地域の他の国におけるITエンジニアの割合の平均値と同等にITエンジニアが存在すると仮定して算出しています。
- ・インドの2021年のITエンジニア数は、情報通信業就業者に占めるITエンジニアの割合が前年と変化しないものと仮定して算出しています。
- ・2020年以降のイギリスのITエンジニア数は、情報通信業就業者におけるITエンジニアの割合が2018年と2019年の2年間の平均と変化しないものと仮定して算出しています。

## 2) 就業人口について

- ・国際労働機関(ILO)のデータベースより、全就業者数を使用しています。

## 3) 調査対象とした109の国・地域 (略称、カッコ内は最新データ取得年、また\*は今回新たに調査対象とした国となります)

### <アジア・太平洋:15カ国・地域>

中国(2021年推計)、インド(2021年推計)、日本(2022年)、韓国(2022年)、フィリピン(2021年)、ベトナム(2022年)、パキスタン(2021年)、タイ(2022年)、マレーシア(2020年)、シンガポール(2022年)、スリランカ(2020年)、ミャンマー(2020年)、カンボジア(2022年)、オーストラリア(2020年)、モンゴル\*(2022年)

### <北米・中南米:17カ国>

アメリカ(2022年)、ブラジル(2022年)、メキシコ(2022年)、アルゼンチン(2022年)、チリ(2022年)、ペルー(2022年)、エクアドル(2022年)、ボリビア(2022年)、グアテマラ(2022年)、ドミニカ共和国(2022年)、コスタリカ(2022年)、ウルグアイ(2022年)、ホンジュラス(2021年)、エルサルバドル(2022年)、パナマ(2021年)、コロンビア\*(2022年)、トリニダード・トバゴ\*(2021年)

### <ヨーロッパ:43カ国>

イギリス(2022年推計)、ドイツ(2022年)、フランス(2022年)、オランダ(2022年)、ベルギー(2022年)、スイス(2022年)、オーストリア(2022年)、アイルランド(2022年)、ルクセンブルク(2022年)、スペイン(2022年)、イタリア(2022年)、ポルトガル(2022年)、ギリシャ(2022年)、セルビア(2022年)、クロアチア(2022年)、スロベニア(2022年)、北マケドニア(2022年)、マルタ(2022年)、モンテネグロ(2021年)、キプロス(2022年)、アルバニア\*(2019年)、コソボ\*(2021年)、ボスニア・ヘルツェゴビナ\*(2022年)、ロシア(2022年)、ポーランド(2022年)、ルーマニア(2022年)、チェコ(2022年)、ハンガリー(2022年)、ベラルーシ(2022年)、ブルガリア(2022年)、スロバキア(2022年)、モルドバ(2022年)、ジョージア(2020年)、キルギス(2020年)、アルメニア(2020年)、スウェーデン(2022年)、デンマーク(2022年)、フィンランド(2022年)、ノルウェー(2022年)、ラトビア(2022年)、リトアニア(2022年)、エストニア(2022年)、アイスランド(2022年)

### <中東:8カ国>

トルコ(2022年)、イスラエル(2022年)、アラブ首長国連邦(2021年)、イラン(2021年)、カタール(2020年)、ヨルダン(2021年)、オマーン(2021年)、パレスチナ\*(2022年)

### <アフリカ:26カ国>

エジプト(2021年)、エチオピア(2022年)、セネガル(2019年)、モーリシャス(2020年)、ザンビア(2020年)、ルワンダ(2020年)、マリ(2020年)、ブルンジ(2021年)、タンザニア(2021年)、ウガンダ(2018年)、ケニア(2020年)、ブルキナ・ファソ(2021年)、コートジボワール(2019年)、カーボベルデ(2019年)、シエラレオネ(2018年)、ボツワナ(2022年)、レソト(2019年)、ナミビア(2018年)、アンゴラ(2021年)、ガンビア\*(2022年)、ジンバブエ\*(2020年)、セーシェル\*(2021年)、ソマリア\*(2020年)、チャド\*(2018年)、チュニジア\*(2018年)、ナイジェリア\*(2018年)

## 4) その他

- ・小数点以下を四捨五入して算出しているため、調査結果の構成比の合計値は必ずしも100%とはなりません。
- ・ITエンジニア数の世界計は、百人以上の合計値で算出しています。また千人以下を四捨五入しているため、必ずしも合計値は一致しません。

## ◆本レポートについて◆

本レポートは、ヒューマンリソシア独自に分析、調査した結果を  
情報提供を目的に提供するものです。

本レポートのご利用にあたり、著作権上「私的使用のための複製」および  
「引用」の範囲を超えるご利用につきましては、  
下記あてにお問い合わせください。

なお、引用の際には、出典を明記してください。

また本レポートは2023年12月発表時点での調査結果となります。

本レポートの内容につきましては、予告なく変更される場合があります。

## ◆本レポートに関するお問い合わせ先◆

ヒューマンリソシア株式会社 広報PR担当  
mail : [resocia-pr@athuman.com](mailto:resocia-pr@athuman.com)

—世界のITエンジニア動向調査—

2023年版データで見る世界のITエンジニアレポート

Vol.9 世界109カ国のITエンジニア数に関する最新調査レポート



ヒューマンリソシア株式会社